

# 令和2事業年度 業務実績報告書の概要

## I 法人の概要（P1～3）

役員、学部等構成、学生数・教職員数、基本目標、機構図等

## II 全体的な状況（P4～9）

全体的な計画の進捗状況、特色ある取組等

## III 項目別の状況（P10～55）

年度計画に記載された項目ごとの実施状況等 計 145 項目

- 1 大学の教育研究等の質の向上に関する計画（98 項目）
- 2 法人の経営に関する計画（25 項目）
- 3 自己点検・評価及び情報の提供に関する計画（6 項目）
- 4 その他業務運営に関する計画（16 項目）

## IV その他の記載事項（P56～60）

予算、収支計画、資金計画の実績等、別表（学生の状況）

## V その他法人の現況に関する事項（P61～68）

入学者、卒業・修了者、資格免許の取得、外部資金の受入状況等のデータ

公立大学法人静岡文化芸術大学

# 1 全体的な状況

## (1) 大学の教育研究等の質の向上

### ① 教育・研究

#### 教育・研究

- オンライン入試説明会・相談会の実施
- 前期はLMSを使用して遠隔授業、後期は感染防止策徹底の上で原則対面授業を実施
- 学部と研究科の学びの連続性を高めるため、教育内容を大幅に見直し、教員を増員
- 研究成果発表会を実施、オンラインによる聴講も可能とし、広く地域に公開

#### 学生支援

- ガイダンスと履修相談をオンラインで実施、特に新入生へのサポートを強化
- 混雑時間帯を避けて食堂・購買を利用する学生に割引価格で食事を提供
- 飛沫対策パネルを学生食堂・学生ラウンジに設置
- 保護者説明会をオンラインで実施

### ② 地域貢献

- 静岡県文化プログラム工芸展等を実施。オンラインによる公開講座のコンテンツを制作、大学Webサイトで公開
- サンパウロのジャパンハウスと共同でオンラインインターンシップを実施
- 県内外の自治体や国からの要請を受け、本学教員が192件の協議会等に参加・協力
- 静大、県大と賀茂地域1市5町の相互連携に関する包括連携協定に基づき、賀茂キャンパスで本学教員が観光に関する講演を行った

### ③ グローバル化

- 新たに春季オンライン語学研修を企画・実施、参加者へ費用補助
- 国際アート・デザイン系大学連合(CUMULUS)での交流を通じ、国立装飾美術学校(パリ)、華東師範学校(上海)とデザイン分野の海外交流協定を締結
- イズミル経済大学(トルコ)との国際デザインワークショップに参加した教員・卒業生・学生によるオンライン交流会を開催

## (2) 法人の経営

- コロナ禍での迅速な意思決定のため、臨時対策会議を隔週で開催
- 創立20周年記念事業として、記念動画のWeb配信、デジタルアーカイブの公開等の実施

## (3) 自己点検・情報提供

- 認証評価、県評価委員会評価及び平成30年度実施の自己点検評価結果への対応策を年度計画に位置付け、改善に取組
- 大学Webサイトにレスポンスデザインを導入

## (4) その他業務運営

- 新入生のガイダンスをオンラインで実施
- 留学先での都市封鎖等にも全員が無事帰国
- ハラスメントに関する学生向け緊急調査、全教職員向けに書面で意識喚起

## 令和2事業年度の全体的な自己評価状況

項目	A	B	C	D	計
教育・研究	15 (15.3%)	83 (84.7%)	0	0	98
法人経営	0	25 (100%)	0	0	25
自己点検・評価 情報公開・広報	0	6 (100%)	0	0	6
その他	2 (12.5%)	14 (87.5%)	0	0	16
令和2年度計	17 (11.7%)	128 (88.3%)	0	0	145
令和元年度 評価結果計	5 (3.6%)	135 (95.7%)	1 (0.7%)	0	141

### 自己評価基準

- A：計画を上回って実施している項目
- B：計画を十分実施している項目
- C：計画を十分には実施していない項目
- D：計画を大幅に下回っている項目

## 新型コロナ感染拡大への対応

- 前期は全て遠隔授業、後期は原則対面授業とし、臨機応変に対応
- 講義室、学生食堂等、学内各所へ設置する飛沫対策パネル約 300 枚を、職員が制作・設置
- オンラインでの国際交流の実施（春季オンライン語学研修、オンラインインターンシップ）
- 臨時学生生活調査を実施、コロナ禍の学生の実態・要望等を把握
- SNS と大学 Web サイト上の特設ページにより、分かりやすくタイムリーな情報発信
- 各種相談（学生相談、修学相談、就職相談、エントリーシート添削等）をオンラインで実施
- 学生同士の交流のため、芝生広場で使用するタープとピクニックシートを貸出
- 企業説明会や就職ガイダンスをオンラインで開催
- オープンキャンパスに代わり、大学 Web サイトに「受験生・高校生向け特設サイト」を設置
- オンラインによる公開講座のコンテンツを制作、大学 Web サイトで公開

## 2 項目別の状況

### (1) 大学の教育研究等の質の向上に関する取組

(業務実績報告書 P10~P36)

#### 特筆すべき取組及び成果等

#### ① 教育

##### ア 入試内容の改善・入試広報の充実

- ・デザイン研究科において、本学に来校できない受験生に対しオンラインによる入学試験（筆記・面接）を実施。【No.3 A】
- ・通常の模擬授業に代えて、オンラインによる模擬授業を企画し、実施。【No.9】
- ・オープンキャンパスに代わり、大学 Web サイトに、特設ページを設置。8月中旬に「オンライン入試説明会・相談会」を実施、約 400 人の受験生・高校生・保護者等に本学の特色を説明。6月から11月にかけて、オンライン個別入試相談会を実施。【No.11 A】

##### イ 教育内容の充実

- ・英語・中国語教育センターの YouTube チャンネルを開設、海外留学経験者の英語インタビューを公開。【No.15-2 A】
- ・前期は、新型コロナ感染拡大に対応して全て遠隔授業に切り替え、後期は、感染防止策を徹底した上で原則対面授業とし、時間割、教室の割当を見直した。【No.17 A】
- ・特別共同授業として、「メディアとしての新聞/社」を中日新聞社、静岡新聞社と共同して開講。【No.19】
- ・新型コロナ感染拡大に対応して、前期にはほぼ全ての教員が LMS を使用し、遠隔授業を適切に行った。【No.20 A】
- ・両研究科において学部との学びの連続性を高めた新たなカリキュラムを策定、文部科学省に届け出を行った。「共同プロジェクト実践演習」について、3つのプログラムを用意、運用を開始。【No.25 A】【No.26 A】【No.27 A】
- ・学部と研究科の学びの連続性を高めるため、教育内容を大幅に見直し、教員を増員配置。【No.29 A】

##### ウ その他教育の取組

- ・性の多様性への対応策について、教職員間で認識を共有。性の多様性への配慮として、性別の記載を省くための各種様式の見直しやポータルサイトのシステム改修などを行った。【No.7 A】

#### ② 学生支援

##### ア 学習支援

- ・新型コロナ感染拡大に対応して、前期にはガイダンスと履修相談をオンラインで実施、特に新生生に対するサポートを強化。【No.45 A】

##### イ 生活支援

- ・コロナ禍及びハラスメントについて、臨時の学生生活調査を行い、結果を学生支援とハラスメント防止策の参考にするとともに大学 Web サイトに掲載。【No.49】
- ・対面授業が本格的に再開した後期から、感染症対策と福利厚生のため、混雑時間帯を避けて食堂・購買を利用する学生に割引価格で食事を提供。コロナ禍のもとで、安全に食事ができるよう、飛沫対策パネルを学生食堂及び学生ラウンジに設置。【No.50 A】

## ウ キャリア教育・進路支援

- ・1、2年生向けのガイダンスを実施し、低学年からのキャリア形成を促進。企業説明会に際し、1、2年生にも参加を促した。【No.55】
- ・後援会と共催で1～3年生までの保護者を対象とした説明会をオンラインで実施。【No.57】
- ・卒業生との連携強化のため、令和2年度の卒業生から学科・研究科ごとに学年幹事を選出、生涯メールアドレスを付与することとした。【No.61】

## ③ 研究

- ・コロナ禍のもとで、感染症対策を講じた上で研究成果発表会を実施。オンラインによる聴講も可能にし、研究成果を広く地域に公開。【No.64】
- ・学内外の研究者との共同研究に対して重点的に教員特別研究費を配分。【No.66】
- ・特別研究の成果を検証、評価するため、成果報告書及び収支報告書を確認・評価し、研究代表者にフィードバックする仕組みを構築。【No.72】

## ④ 地域貢献

- ・後期に静岡県文化プログラム工芸展などの展覧会等を実施。オンラインによる公開講座のコンテンツを制作し、大学Webサイトで公開。【No.75】 【No.81】
- ・静岡県ブラジル交流事業として、サンパウロのジャパンハウスと共同でオンラインインターンシップを実施。【No.79 A】 【No.87-1 A】
- ・県内外の自治体や国からの要請を受け、本学教員が192件の協議会や審議会等に参加・協力。【No.80】
- ・静岡大学、静岡県立大学と賀茂地域1市5町の相互連携に関する包括連携協定に基づき、賀茂キャンパスにて本学教員が観光に関する講演を行った。【No.82】
- ・令和3年度中の新センター開設を視野に入れ、現在の英語・中国語教育センターを学生がアクセスしやすい場所に移転。【No.84 A】

## ⑤ グローバル化

- ・英語・中国語について、新たに春季オンライン語学研修を企画し、実施。参加者への費用補助を行った。【No.88 A】 【No.90 A】
- ・国際アート・デザイン系大学連合（CUMULUS）での交流を通じて、国立装飾美術学校（パリ）、華東師範大学（上海）の2校とデザイン分野の海外交流協定を締結。【No.93】
- ・平成26年から毎年開催してきたイズミル経済大学（トルコ）との国際デザインワークショップに参加した教員・卒業生・学生によるオンライン交流会を開催。【No.94】

大学の教育研究等の質の向上に関する取組 項目別の評価状況

項 目	A	B	C	D	計
教育	8	39	0	0	47
学生支援	2	17	0	0	19
研究	0	11	0	0	11
地域貢献	2	9	0	0	11
グローバル化	3	7	0	0	10
令和2年度計	15 (15.3%)	83 (84.7%)	0	0	98
令和元年度 評価結果計	4 (4.2%)	91 (95.8%)	0	0	95

## (2) 法人の経営に関する取組

(業務実績報告書 P37~P44)

### 特筆すべき取組及び成果等

#### ① 業務運営の改善

- ・コロナ禍での意思決定を迅速に行うため、学長、役員、役職教員及び事務局関係者による臨時対策会議を隔週で開催。【No.95】
- ・創立 20 周年記念式典の開催はコロナ禍で中止したが、20 周年記念事業として、記念動画の Web 配信、デジタルアーカイブの公開、記念誌及び研究紀要特別号の発行等を行った。【No.96】
- ・本学独自の研修支援制度を利用し、主にオンラインで受講できる学外研修に参加。  
【No.104】
- ・出産休暇や妊婦検診休暇等の制度を、期間契約職員等、女性比率の高い職員層に拡充・新設し、運用を開始。【No.105】
- ・コロナ禍において、不要不急の業務を延期し、室間連携による対策チームを立ち上げたり、室を跨いだ応援体制をとる等、柔軟な組織体制を敷いた。【No.109】

#### ② 財務内容の改善

- ・科学研究費補助金等の外部資金獲得に向け、研究計画調書作成について外部講師との個別相談、ポイントの解説の視聴ができる動画配信サービスの提供等を行った。  
【No.113-1】
- ・静岡文化芸術大学基金を活用し、海外留学する学生に対し奨学金を支給した。  
【No.113-2】
- ・新財務会計システムが稼働し、システム保守管理経費が低減。【No.118】

### 法人の経営に関する取組 項目別の評価状況

項目	A	B	C	D	計
業務運営	0	18	0	0	18
財務内容	0	7	0	0	7
令和 2 年度計	0	25 (100%)	0	0	25
令和元年度 評価結果計	1 (4.2%)	23 (95.8%)	0	0	24

### (3) 自己点検・評価及び情報の提供に関する取組

(業務実績報告書 P45~P47)

#### 特筆すべき取組及び成果等

##### ① 評価の充実

- ・ 認証評価結果、県評価委員会評価及び平成 30 年度実施の自己点検評価結果への対応策を年度計画に位置付け、改善に取り組んだ。【No.119】

##### ② 情報公開・広報の充実

- ・ 法人運営、教員の教育研究活動、学生の自主活動、新型コロナへの対応など、大学の最新情報を積極的に収集し、Web サイト、SNS（ツイッター）で発信。【No.120】
- ・ 大学 Web サイトのリニューアルにあたり、教員や事務局各室の意見を参考に掲載内容、配置について検討を行い、レスポンスデザインを導入。【No.121】

#### 自己点検・評価及び情報の提供に関する取組 項目別の評価状況

項目	A	B	C	D	計
評価の充実	0	1	0	0	1
情報公開・広報	0	5	0	0	5
令和 2 年度計	0	6 (100%)	0	0	6
令和元年度 評価結果計	0	6 (100%)	0	0	6

#### (4) その他の業務運営に関する取組

(業務実績報告書 P48~P55)

#### 特筆すべき取組及び成果等

##### ① 施設・設備の整備・活用

- ・ 県施設整備費補助金及び目的積立金を財源に、屋外壁面の修繕（第3期）、空調機器（演習室）及び誘導灯を更新。【No.125】
- ・ 国の定めるインフラ長寿命化基本計画に基づき、本学施設の維持管理に係る個別計画を作成。【No.127】

##### ② 安全管理

- ・ 新型コロナ感染拡大防止のため、新入生のガイダンスをオンラインで行い、学生便覧を郵送、事故等の予防・発生時の対応の他、大学生活全般において留意すべき事項について、動画配信で分かりやすく周知。【No.129 A】
- ・ 新型コロナの急拡大に伴い、留学先で突然の都市封鎖等のトラブルがあった際、大学と学生間で緊密に連絡を取り、全員無事に帰国。【No.134 A】

##### ③ 社会的責任

- ・ 前年度発生したハラスメント事案4件（行為者ベースでは3件）について、ハラスメント調査委員会を立ち上げ、懲戒解雇を始めとする厳正な処分を行った。【No.137】
- ・ 学生を対象としたWebアンケートにより、ハラスメント被害やハラスメントの認知の状況等を緊急調査。【No.137】
- ・ 教職員の「学生へのハラスメントを防止するための留意事項」を学長から発出し、全教職員の意識喚起を行った。【No.137】
- ・ コンプライアンスに関する意識の向上を図るため、全教職員を対象に、「適切な公的研究費の執行について」をテーマに監査法人の公認会計士による学内研修会をオンライン併用で実施。【No.138】
- ・ 空調負荷を低減するよう、利用者と使用室の選択等の調整を行った。【No.140】

#### その他業務運営に関する取組 項目別の評価状況

項目	A	B	C	D	計
施設・設備	0	3	0	0	3
安全管理	2	7	0	0	9
社会的責任	0	4	0	0	4
令和2年度計	2(12.5%)	14(87.5%)	0	0	16
令和元年度 評価結果計	0	15(93.8%)	1(6.2%)	0	16